

世界卓描 せかいてんぴょう

第59回 コソボ共和国

内戦を終えて

アドリア海に面した南東ヨーロッパのバルカン半島には多くの小さな国がある。社会主義連邦国家を構成していた旧ユーゴスラビアがあった所で、数々の民族、言語、宗教が混在していたため国内各地で内紛が勃発し、1991年のスロベニア、クロアチアを皮切りに次々離脱、独立していった国々である。そして2008年コソボの独立を最後に七つの国に分裂してユーゴスラビアは消滅した。

セルビアから独立しヨーロッパで一番新しい国となったコソボだが「戦争で取られたものは戦争で取り返してやる」と叫んでいたセルビア人をテレビで見た時、未だに残るセルビアとコソボの深い溝が消え去ることはないのだろうと感じた。しかしコソボを独立国家として承認しているのは196ヶ国のうちアメリカや日本を含んだ108ヶ国、承認していないロシア、中国、スペインなどはコソボはまだセルビアの一部だという立場をくず



修道院

していないという複雑な事情もある。いずれにしても平和を取り戻したそれぞれの国の人々は今、美しい街並みや貴重な歴史遺産を守りつつ落ち着いた生活を送っている。とは言え壁に残る沢山の弾痕や爆撃によって崩れたままの建物はまだあちこちに残っていた。こんな6ヶ国を巡る旅をわずか9年前まで激しい民族紛争が続いていたコソボから始めた。

首都プリシュティナを中心にあるマザーテレサ大通りを歩いた。通りは広々とした歩行者専用道になっていた。社会主義時代の建築物も多く残っている中、通りには近代的な建物も増えて明るい雰囲気であった。街角でアメリカ国旗とクリントン大統領の銅像が目についた。セルビアとコソボ内戦中の1999年にアメリカを中心としたNATO軍がセルビアを爆撃、そのおかげでコソボは独立できたという事で感謝の意味を込めて銅像が建てられたそう。立ち寄ったセルビア人村にある美しい修道院の入口には、中に入るための注意が絵が示されていた。肌が出る服装、カメラ、ビデオの撮影禁止やノンスモキングと並んで描かれていたのはピストル（拳銃）の絵だった。（藤原紀子）



Toriの 英語で Point Lesson!

Do you know～?

日本人と英語で話している時、“Do you know the baseball player Ichirou?”のような質問を聞かれて、勘違いしてしまうことが多いです。相手は「野球選手のイチローさんって知っていますか」のつもりで聞きますが know という単語に「実際に会っている知り合い」というニュアンスが含まれていますので、私は「同じアメリカに住んでいたことだけで知り合っているわけじゃないでしょう!」というふうに答えてしまいます。

それなら、「野球選手のイチローって知っていますか」は英語で何と言うのでしょうか?私にとって、“Have you heard of the baseball player Ichiro?”が一番自然です。“Do you know of the baseball player Ichirou?”という聞き方もあります。少し古っぽく聞えますが本来の意味は十分伝わります。そして、ちょっと難しいかも知れませんが “Do you know who Ichirou is? He's a baseball player.” もとても自然で間違いなく通じます。

ハロウィンパーティー

日時：10月15日(日)
開場12:00、開演12:30～15:00
場所：コミセンきたの
参加費：料理持参【Potluck形式】
YIFA会員 500円(1500円※)
非会員 1,000円(2000円※)
小学生 700円 小学生未満 300円
1歳未満無料(家族参加の場合大人2人につき子ども1人無料)
※料理持参なしの場合
テーマ：仮装でLet's Dance
備考：仮装での参加をお待ちしています。
簡単なグッズの貸し出しも行います。
定員：150名

中国語入門講座

～6回シリーズ～

日時：11月8日、15日、22日、29日、
12月6日、13日
毎週水曜日 10:00～11:30
会場：コミセンやす
講師：藤田 朋子さん(中国籍)
参加費：YIFA会員 4,000円
非会員 6,000円
定員：15名(最少開講人数8名)

ケニア編

日時：12月3日(日)
14:00～15:30
場所：コミセンきたの
講師：山本 康夫 さん
受講費：YIFA会員 無料
非会員 200円
演題：ケニア青年海外協力隊での体験談
(ワークショップで追体験)
定員：40名



野洲市国際協会 〒520-2395 滋賀県野洲市小篠原2100-1野洲市役所 TEL:077-586-3106 FAX:077-586-3139
URL:http://www.yifashiga.org E-mail:yifa@gaia.eonet.ne.jp

イーファメイト 発行日：平成 29 年 9 月 15 日 編集：広報部会

姉妹都市交流使節団 来訪

7月15日、米国クリントンタウンシップから使節団が来訪しました。今回は中学生からシニアまで、男性3名、女性7名の計10名のメンバーです。26日までの12日間、ホストファミリー宅に滞在しながら色々なイベントに参加してくれました。その中からいくつかを紹介します。

【篠原小学校訪問】

使節団メンバーは2名ずつに分かれ、各学年の教室で生徒たちと一緒に給食を食べました。英語を習っている生徒の中には積極的に話しかけて会話を楽しむ様子も見られ、楽しい食事となりました。昼休みには2年生と一緒にカルタや折り紙など、様々な伝統遊びをしました。5時間目にはメンバー数名ずつに分かれ、生徒たちと一緒に書写の授業を体験。高学年のクラスでは短歌などの難しい課題もありましたが、お手本を見ながら真剣な面持ちで丁寧に書き上げる姿が印象的でした。



篠原小学校にて

【日本文化体験】

鮎家の郷では、料理長から作り方を教えてもらい、巻き寿司と握り寿司に挑戦しました。兵主大社では舞を鑑賞し、神職や巫女の衣装の着付けを体験しました。弓道体験では、イタリア出身の神利さんたちから一連の所作を学び、実際に的を射る練習をしました。霧深い中、伊吹山にも登りました。



伊吹山にて

【野洲市夏まつり】

日差しが照りつけるなか、メンバーたちはステージ上で、ダンスを披露し、会場の雰囲気を盛り上げてくれました。屋台ではスモア(S'mores)と呼ばれる(焼いたマシュマロをチョコレートと一緒にクラッカーではさんで作る)お菓子を販売しました。お客さんの呼び込みをするメンバーは、汗だくになりながらも笑顔を絶やさず、会場内をかけずり回っていました。そして、お祭りのフィナーレを飾る花火を楽しみました。



スモアを作る山仲市長

他にも、市役所や消防署訪問、甲賀忍術村、野洲中学剣道部見学、たこ焼き体験などたくさんのイベントがありました。蒸し暑い日が続くなか、使節団メンバー全員が全てのイベントに積極的に参加し、楽しんでくれました。ホストファミリーとの自由時間には、各地に出掛けるなどして、充実した時間を過ごせたようです。なかには御朱印帳を始めたメンバーもいます。滞在中の思い出の数々が、いつまでも素晴らしい記憶として残り、今後の交流への新たな繋がりとなることを願います。



神利さんに弓道を教わる



兵主大社にて

ゲストティーチャー

野洲市は国際理解・多文化共生に力を入れています。国際理解教育支援（愛称「ゲストティーチャー」）もこの中の一つです。ゲストティーチャーは、学校で母国の文化、挨拶、遊びなどを紹介するのを手伝います。今年の3月に着任してからいつも楽しいこの仕事を頑張っています。

野洲小学校では「140 人の 3 年生に 6 カ国（出来れば大陸別）のことを紹介したい」という希望で、1 週目、私がアメリカの遊び、パラシュートを教えました。2 週目、ロシアに産まれて、2 歳の時オーストラリアに移住したウリヤナさんがロシアダンスを教えに来てくれました。3 週目、滋賀県国際交流員でブラジル出身のホドリゴさんがブラジルの珍しい物を持って来て、それが何かを当てるゲームをしました。4週目、中国出身のジアミンさんが中国語の歌を教えたり、中国の絵本を読んだり、「日本のキャラクターの中国の名前ゲーム」などをしに来てくれました。5週目、イタリア出身の神利さんがイタリアの名物であるパスタとピザのことを詳しく教えて、最後に「ピザ作りゲーム」をやってくれました。6週目、ペルー出身のジャンカルロさんが伝統衣装とペルー独特の楽器の体験を用意してくれました。



三上小学校から「音楽の授業の中で国際理解教育を何かできないか」という要望を頂きました。対象は40人の2年生でした。アメリカのこと（位置、人種、名物、名所など）をパワーポイントで簡単に紹介してから「子犬のビンゴ」、「ロンドン橋」、「頭肩膝ポン」など、アメリカの児童も楽しんでいる歌の英語版を紹介して、一緒に歌ってみました。最後に給



食も一緒に食べさせて頂きました。

野洲幼稚園からは、「園児に外国籍の親を持つ子どもがいるので、外国のことを知ってもらいたい」とのことでした。ミャンマー人のナンさんとタイ人のトックさん、そしてアメリカ人の私で「日本人男性を夫に持つ外国人3人組」が幼稚園の体育館に集まった150人の子どもにそれぞれの国のことを写真で紹介しました。その後、クラスに分かれて3人のゲストティーチャーが教室を訪ね、自分の国の絵本を読んだり、子どもの歌や遊びを教えたりして少人数で交流しました。



一番規模が大きかったのが、**北野小学校**です。1年生と2年生全員とその保護者、合計350人ぐらいで、「親子で英語に触れながら楽しむゲームや軽い運動」をテーマにしたイベントをしました。これほどの人数は初めてでしたがPTAの方々の手助けで何とかできました。パワーポイントを使ってアメリカのことを紹介することから始め、「頭肩膝ポン」の英語版と一緒に歌ったり、色の英単語を練習するボール回しゲームをしました。そして軽い運動としてアメリカの児童ゲームの Duck,Duck,Goose（ハンカチ落としゲームに似てる）と Sharks and Minnows（鬼ごっこのバリエーション）を親子でやりました。

在日外国人の大半は仕事ビザで滞在しているため、平日の昼間に学校に行ける人材を確保するのは結構難しいです。また、大人数の前で第二言語である日本語で喋るのは恥ずかしいです。でも、この仕事はとてもやりがいがあります。人種差別はまだどこの国でも大変な社会問題だと思います。残念なことに、日本もそうです。私が、そして私の子どもが、ずっと気持ちよく生きて行ける国を作り上げるために、ひとまず「言葉や習慣が多少違って、それよりも一緒にいるところの方がよっぽど多い」ということを理解してもらわなくてはなりません。お互いを外国人、日本人、などじゃなくて、ただの「人」として見てもらえる将来のために、これからも頑張ります。

（笠原ビクトリア）

Enjoy Chatting in English



今年も多くの人が“英語で Tea Party”に集まりました。レベルや年齢、国籍は問いません。高校生や就活中の人、小さなお子さん連れのお母さん、熟年層まで幅広い方々が集い、様々な話を聞くことができました。また、カナダ出身のケヴィンさん、インド出身のスニタさん、YIFAスタッフのビクトリアさん（通称トリ）も交えて、異文化交流もできました。

話題は、好きなことや旅行に行きたいところなど、誰でも簡単に答えられそうなものです。トリさんがペットを飼いたいということで、どんなペットを飼ったことがあるのかを尋ねたところ、Dogs, Cats, Parrots（オウム）、Goldfish, a Hermit Crab（ヤドカリ）、a chipmunk（リス）など様々な答えがあり、飼うよう

になった経緯やエピソードなども聞けました。金魚は夏祭りで捕ったものだと言明すると、ケヴィンさんは驚いたようで、皆で“金魚すくい”について説明することに。ポイをどのように英語で言えばいいのか悩みましたが、わかってくれたでしょうか。また、「家に有名な人を招くなら誰を招くか」や「I can't live without～」などのトピックもあり、それぞれの関心のあることや人がわかり、盛り上がりました。

英語は使わなければ話せません。文法や単語を知っていても、とっさに出て来ないからです。でも、慣れれば誰でも話せるようになっていきます。“英語で Tea Party”をそのための機会として活用してみたいかがですか。

手こぎ舟でゆったりと水郷巡り

YIFA主催の日本文化を知る近江八幡ツアー「よしちまき作り&手こぎ舟で水郷巡り」が6月10日（土）に行われました。参加者は約30人で、半数近くは来日している外国人でした。

琵琶湖に通じている水深の浅い水郷に群生している葦（よし）は3メートル以上に育っており、葦に囲まれた水路を和船でゆったりと巡りました。梅雨に入った 6 月上旬でしたが快晴に恵まれ、爽やかな風に吹かれながら1時間の船遊びを満喫しました。船頭さんは船から見られる植物、動物、鳥、観光案内などの説明をしながら、約1時間、休みなく櫓をこぎ続けました。

乗船場の近くで「よしちまき作り」が体験できました。もち米粉のもちを葦の葉にくるみ、イ草を巻き付けて「よしちまき」を作りました。作ったちまきは私たちが乗船している間に蒸してもらい、船を降りてから自分の作ったちまきをいただきました。

水郷巡りの後、近江八幡の市内観光をしました。英語が堪能なガイドさんの案内で日牟禮八幡宮に参拝してから、八幡掘付近や古い商家の残っている通りを散策しました。



日本語指導者養成講座開催

去る 5 月 27 日（土）、日本語教室「スマイル」代表の吉岡俊之氏による日本語指導者養成講座が開催されました。今回開催された講座は初級講座で、日本語指導に興味のある方や指導を始めたい方18名が受講されました。講座は「日本語指導者とは」から始まり、学習者にとってわかりやすい話し方とはどういったものか、何を教えるのか、学習者にとって難しいことはどんなことかなどをクイズ形式や実際に声に出しながら教えていただきました。講座終了後もまだまだ聞きたいことがあるといくつも先生に質問をしていました。

憧れのカーヌーとBBQに参加して

宮本ナンシャイン（ミャンマー）

初めてドラゴンカーヌー大会とBBQに家族とお友達を誘って参加しました。昔からカーヌーに乗ることやBBQをやるのが憧れだったけれど、なかなか機会がなく、特に小さい子どもがいるのでとてもできませんでした。YIFAのスタッフ達が「子どもを見てあげるよ」と優しいところで声をかけてくれたおかげで、今回参加する事ができました。

カーヌーは初めてだったし、説明はあまり理解できなかったけれど、乗ったらすごく楽しくて、思わず大きい声を出してしまいました。こんなに大きな声を出すのは何年ぶりだろう！BBQも思っていたよりたくさんあって、焼きそば、ホットドッグ、飲み物、お肉やアメリカンデザートなど、いろいろでした。作ってくれた皆さんの腕が上手

なせいか、カーヌーで体力を使ったせいか、すごく美味しかったです。参加者の皆さんも、とても気さくで昔から知っているかのように感じました。また機会があれば来年も参加したいと思います！



「日本人であれば誰でも日本語を教えられる、しかし『コツ』がある」。また、「コミュニケーションを取りたいから、学習者は日本語を勉強したいと願っている。そんな学習者をサポートしてほしい」と吉岡先生は言われます。モットーは「楽しくやる」。日本語指導とは、無意識で話す日本語を意識して話すことで日本語を見つめなおし、その素晴らしさ・難しさを改めて知る、そんな時間が持てる機会なのだと感じた講座でした。



YIFA YIFA YIFA 私たちは国際交流事業を応援しています YIFA YIFA YIFA



ゼラチン・コラーゲンペプチド各種製造販売しております。

野洲化学工業株式会社

本社 滋賀県野洲市市三宅1013
TEL 077-588-3000
FAX 077-588-3004

三上工場 滋賀県野洲市三上2268
東京営業所 東京都千代田区岩本町2-4-5
インスタイルスクエア R1204号



奥野印刷株式会社

●企画・デザイン●総合印刷
●会社案内●パンフレット●販促チラシ・DM
●ポスター●各種機関紙●各種伝票

〒520-2362 滋賀県野洲市市三宅694-14
TEL 077-588-2800 FAX 077-588-1955
E-mail : p-okuno@fuga.ocn.ne.jp HP : http://okuno-print.net/



イメージキャラクター